

8. 今後の課題

基本計画における課題、今後の検討・協議等が必要な項目と、それに対する対応・検討の方針について整理し、以下の表にまとめた。

図表 2-8-1 今後の課題整理表

主な今後の検討項目			今後の対応・検討方針
大項目	小項目	内容	
区域に関する内容	道路区域の設定	公園区域（敷地）の決定に際して、周辺道路の拡幅整備など、道路区域の設定が必要。	発生交通負荷を鑑み、幹線44号線を中心に拡幅等の手続きを継続して進める。
	区域内道路・水路の廃止等	公園区域（敷地）の決定に際して、区域内の道路は必要に応じて廃道等の手続きを行うことが望ましい。	基本計画の方針に沿って、残す必要がない道路・水路の廃止手続きを進めるとともに、廃止する水路については、暗渠化等の対策を継続検討する。
	未買収地の対応	公園区域（敷地）の決定に際して、区域内の権利者の合意形成が必要。	近隣地権者に対する計画内容の周知と用地取得交渉が必要。公園都市計画決定等の手続き前には、地権者との合意が望ましい。
	区域内 既存電柱の移設	計画地内を南北に電柱が縦断しており、公園整備計画に併せた一時的な移設・盛替え等が必要。	関連インフラ事業者と協議し、移設ルート・期間・盛替え位置等の検討を行う。
機能・配置に関する内容	市施設導入機能・仕様の深度化	基本計画案をもとに導入機能の深度化を行うとともに各室の仕様やクライテリア（設計与件）を定める。	基本設計にて、建物側の設計と条件を取りまとめる。
	県施設規模との調整	PFI事業で公募される県施設の配置、規模設定と、市施設／公園設計の調整が必要。	PFI公募結果に応じて、機能・動線・デザイン等について適宜調整を図る。
	川口市景観計画との調整	市／県施設とともに、川口市景観計画で定める高さ規定を超える為、関係機関との調整が必要。	県施設のPFI公募結果に併せて、市・県両施設で景観と調和した施設検討を行い、川口市景観形成委員会に諮問する。
	屋外運動施設の深度化	今後の運営・維持管理面を含めた持続的な公園施設の導入可否を検討。	収益性のある競技種目の導入も含め、引き続き屋外運動施設の機能・規模を検討する。
	屋外運動施設の配置計画	限られた面積・法規制による制約を踏まえた効果的な配置の検討。	上記、屋外運動施設の深度化・再整理に併せて、継続して配置計画を検討する。
	駐車場の規模・配置の更新	市・県両駐車施設で連携し、必要な駐車需要を満足する規模、配置を検討する。	県施設の規模・配置の確定に併せて、改めて駐車台数と配置の検討を行う。
	公共交通の検討	路線バス等のルート変更、増便や計画地内への乗り入れの検討を行う。	現状・将来の路線需要等を鑑み、県並びにバス事業者と継続して協議を行う。
	雨水貯留施設の規模・工法の精査	事業費の多くを占める雨水貯留施設の規模・工法の検討。	コスト削減、工期短縮等を視野に、貯水量の詳細検討や工法の精査を行う。また、県整備区域内における雨水貯留量の確保・分担についても協議を行う。
	公園受水槽の精査	必要な水使用に際して、継続して受水方式の検討を行う。	周辺インフラの負荷状況を鑑み、受水方式（受水槽の必要性、直結方式等）について、関係課と協議・検討を行う。
	下水方式の精査	下水処理方式に関して、継続して検討を行う。	既設下水管に対する新規での接続可否等を含め、関係課と協議・検討を行う。
各種仕様の精査	舗装、植栽、遊具等について継続して仕様の精査を行う。	基本計画の機能・規模を踏まえて、詳細な仕様を継続して検討する。	
スケジュール・工事に	市施設	令和9年の供用開始を踏まえ工事・申請スケジュール等を継続して検討を行う。	基本設計での建物計画・形状の深度化に併せて、必要な工期算定を行う。
	公園	供用開始時期と工期分けも含め、工事スケジュールの検討を行う。	工事範囲・規模が広範となることから、工区・工期分けの必要性や、段階的な供用開始等も含め、継続して検討を行う。
	県施設との連携	設計・建設期間の詳細が不透明な県施設との調整・連携を図る。	PFI事業者決定に併せて、両施設で連携が必要な項目（申請、道水路、雨水貯留の分担等）を整理・調整を図る。
	都市計画	施設の工事・申請に先立ち、都市計画変更（公園区域変更）を行う。	施設の申請、既存施設の解体に先立ち、都市計画変更と公園の区域決定・事業認可、既存公園施設等の廃止条例手続きを行う。

※赤字の項目については、今後特に協議・検討が必要な事項とする。